

平成30年度学校経営計画書

学校番号	100	沼津市立沼津高等学校・中等部	校長名	樋口 和男
------	-----	----------------	-----	-------

1 目指す生徒像 校訓 「求道」

(1) 教育目標

明日の社会に貢献できる夢ある人材の育成

コンセプト 「あすへのゆめをみつけ、あゆみ続ける」

育てたい生徒像 「**学ぶ喜びを感じ、喜びを共有できる生徒**」

ア 困難に打ち勝つ逞しさを持ち、自己の能力を向上できる生徒

イ 多様な個性を認め、協働して課題解決できる生徒

ウ 地域や社会を理解し、主体的に社会に貢献できる生徒

(2) 目標具現化の柱

ア 主体的な学びと課題解決能力の向上を目指す授業の改善

イ 自己実現に向けた教育課程と進路指導計画の作成

ウ 豊かな感性や優しさ・逞しさ・協働の心を育む教育の実践

エ 安全教育から他を助ける防災教育への発展

オ 地域や保護者との連携協力による学校改革の推進

2 本年度の取り組み（重点目標はゴシック体で記載）

	取り組み目標	達成方法	成果目標	担当部署
1	ア 主体的な学びと課題解決能力の育成	主体的生活管理による基本的生活習慣の確立	学習方法の改善 手帳活用率 80%	教 務
		中高一貫教育の継続性を生かした教育システムの再構築	GTEC等外部試験の活用 新課程対応の6年間シラバスの研究	
		eポートフォリオの導入研究	研究ユニットによる校内研修2回	進 路
		カリキュラム・マネジメントの視点での授業や行事の見直し (行事前学習と発表機会の検討)	修学旅行満足度 中等部 90% 高校 90% 宿泊研修満足度 90% (中等部) 生徒運営の薬学講座実施	教 務 学 年 進 路 保 健 科
		グローバル化に対応した国際理解教育の推進	高校修学旅行での海外大学交流 カラマズー市への交流派遣 留学生の受け入れ	図書研修
		教員の指導スキルの向上 ALやICTの校内研修実施	ICT機器を活用している 教員回答 90% AL授業を取り入れている 教員回答 90% 新システムの活用研修2回	
		地域指導者を活用した地域課題の理解	総合学習での講師招聘	
		教育環境整備の情報共有の強化	教育機器使用開始時期の短縮化 機器使用講習会の実施	事 務

2	イ 自己実現に向けた教育システムの改善	基礎力定着学習の実施	基礎学力指導 中等部 10回 高校 10回	学 年 教 科
		個々の進路実現を目指す教育課程の改善	現教育課程の改訂	教 務
		次期指導要領対応 中等部 道徳教科化準備 高校 新カリキュラム準備 大学入試制度変更対応	道徳シラバス作成 新教育課程原案作成	
		入学から卒業までの中長期的進路計画作成	進路シラバスの作成 一貫の6年間用・高校3年間用	進 路
		発達段階に応じたキャリア教育の充実	大学見学の実施 インターンシップ研修 高校生による中等部進路講話実施	
		計画的個別指導への改善	国公立合格 10%up 就職決定 100%	
		3	ウ 豊かな感性、優しさ逞しさ、協働の心の育成	生徒会活動の充実
文武両道を目指す部活動運営 部活指導の効率化	週1回の部活動休日実現			
自主的な貢献活動の奨励	白桃ボランティアの改善実施 学年・学部単位の実施 高校総体ボランティア参加 外部主催ボランティアへの参加者数 前年度比 10%増 保育園訪問の実施			
自尊感情や自他を敬愛する心の育成を目指す計画的指導	あゆみ講演会実施 カウンセリング室たより 10回			中 等 部 保 健 カ
		計画的な読書指導の実施	朝読年間 1500分実施	図書研修
4	エ 安全教育の発展	交通安全教育の実施	交通事故前年比 50%減	生 徒
		SNS問題への対応に対する計画的な指導	授業による指導の実施 講演会の実施	
		保健室との健康情報の共有	保健室たより発行 10回	保 健 カウ ンセリング
		AED・救急訓練等の実施	教職員及び生徒1学年で実施	
5	オ 地域や保護者との協働による学校改革	学校祭での地域連携	地域保育園児の招待参加	生 徒
		P T Aとの協働による進路研修会の実施	進路講演会実施 進路情報の提供改善	進 路 総 務
		P T A行事の効率的運営	防災地区会の改善 合同実施	総 務
		地域防災への貢献向上	生徒の地区防災参加率 80%以上	
		校内防災訓練改善	地域防災担当者の見学実施	